

華やかなガラ・コンサート～オーケストラとの『饗宴』

出演者プロフィール



折河 宏治 (バリトン)

国立音楽大学卒業。同大学大学院修了。第14回日本モーツァルト音楽コンクール第3位。ウィーンで研鑽を積む。藤原歌劇団公演『イル・カンピエッロ』にアストルフィとして出演、藤原歌劇団

デビューを果たす。続いて、アラン・ギンガル指揮『蝶々夫人』、アルベルト・ゼッダ指揮『セヴィリアの理髪師』に出演。また日生劇場公演ではこれまでに十束尚宏指揮『ジャンニ・スキッキ』（公証人）、広上淳一指揮『利口な女狐の物語』、佐川吉男音楽賞受賞作品（ハラシュタ）、上岡敏之指揮『魔笛』（パパゲーノ）、広上淳一指揮『フィガロの結婚』（フィガロ）に出演。2011年度エリザベト音楽大学着任後は、西日本に拠点を移してオペラやコンサートなどで精力的に活動中。ひろしまオペラルネッサンス公演では、『遣唐使』、『カルメン』、『リアの物語』、『フィガロの結婚』、『ジャンニ・スキッキ』、『班女』に出演。2015年8月には、マツダスタジアムでの広島東洋カープ主催試合において国歌を斉唱。同年12月には、広島サンブラザホールで開催のRCC主催「第九ひろしま2015」のソリストを務める。

現在、エリザベト音楽大学准教授。



浅田 結希 (フルート)

宮崎県出身。宮崎学園高校卒業。東京藝術大学を同声会賞を得て卒業。同大学院修士課程修了。これまでに、第58回全日本学生音楽コンクール九州大会第1位、第11回宮日音楽コンクール最優秀賞、第33回宮崎県独唱独奏コンクールグランプリ、第18回コンセールマロニエ21第1位、第20回びわ湖国際フルートコンクール入選の各賞を受賞。これまでに藝大フィルハーモニア、日本モーツァルト青少年管弦楽団、栃木県交響楽団と協奏曲を共演する。

現在、茨城県立水戸第三高等学校非常勤講師。



本所 美咲 (ソプラノ)

3歳からピアノを始め、これまでに岡本了子、松隈清陽に、声楽を菊入三恵、杉江光の各氏に師事。2017年、深川市民ミュージカル「わが街 深川」にナツ役として出演。

現在、北海道教育大学3年次在学中。



木村 貴紀 (ピアノ)

武蔵野音楽大学卒業。同大学大学院修了。1993年東京文化会館主催「新進音楽家デビューコンサート（旧 推薦音楽会）」オーディション合格、1994年大阪府・「アゼリア推薦新人

演奏会」オーディション合格、2004年佐賀県・「第10回鳥栖ピアノコンクール」第2位及び鳥栖市長賞などの受賞歴がある。リサイタルは、1997年津田ホール、2002年及び2007年東京文化会館小ホール、2002年石川県・シーサイドヴィラ渤海、同年及び2008年石川県・金沢市アートホールの各地で開催。オーケストラとの共演は、2000年東京文化会館大ホール、2005年佐賀県・鳥栖市民文化会館大ホール、同年福岡県・アクロス福岡シンフォニーホール、2009年東京・かつしかシンフォニーヒルズ、2014年及び2017年（2回）北海道・旭川市民文化会館大ホール、2016年北海道・旭川市大雪クリスタルホール（弾き振り）で行っており、いずれもピアノ協奏曲のソリストをつとめている。また2013年と2016年には、旭川フィルハーモニー管弦楽団によって編成された室内管弦楽団を指揮した。ピアノを故坂田真理子、徳川愛子、久富綏子、故ゲオルグ・ヴァン・ハーリ、エルジェーベト・トゥーシャの各氏に師事。

現在、北海道教育大学旭川校准教授、拓殖大学北海道短期大学非常勤講師、月刊『音楽現代』演奏会評等執筆者。



北日本フィルハーモニー管弦楽団

1983年設立。1988年第1回定期演奏会開催以来、年に一度の定期演奏会を中心に演奏活動している。団員は音楽を趣味で楽しもうという方から、日々上を目指し音楽の道に進もうと

する学生、プロの方々まで様々な立場の方が所属している。「豊かな音楽性を追求するオーケストラ」へと成長することを目指し、客演の指揮者、プロの演奏家による指導を仰ぎながら、プロの方々との共演、音楽家を目指すソリスト経験機会の提供・支援などの活動を行っている。